

BCAO 関西支部 平成 27 年 9 月度 第 106 回支部会議事録

日時： 平成 27 年 9 月 16 日（水） 18：00～18：30

場所： 大阪府中央公会堂第 6 会議室

司会： 野原 書記： 鷺山

出席者： 12 名（順不同、敬称略）

細坪、萩原、速水、野原、伊藤（高）、飯田、伊藤（聖）、山口、柳父、中村（和）、山本、鷺山

議題：

①BCAO 本部運営会議・役員会議(8/24)の概要報告

●細坪事務局長より

○10 周年記念事業について（配布資料参照）

- ・コンセプトは経営者向けシンポジウム、演習、アワード&シンポジウム、被災地視察及び関西シンポジウムという構成で 3 月に実施すべく企画中。
- ・経営者向けシンポジウム開催趣旨は BCAAO として経営者に対し事業継続（BC）は経営であるという事を前面に打ち出す事。
- ・経営者向けと実務者向けを明確に分けて実施する、東京では、経営者向けは 2 月 23 日を予定。
- ・外部講師人としては、名和高司氏（一橋大学教授でありまた多数の企業の社外取締役を兼務され、経営者アドバイザーとして活躍）に要請中。
また、藤井聡氏（京大教授、内閣官房参与）にも要請中。
両氏とも、知名度や経営に対して深い造詣もあり、BC に対する理解を深めてもらいながら講演を頂く。また藤井氏が管轄する内閣官房で検討中の企業に対する国土強靱化認定制度作成を検討しており、人材育成が重要で、BC の資格を国家認定にするべきであると主張している事から、BCAO の重要取組テーマである BC 人材育成や資格制度についても連携が出来る事も模索する。
- ・今後 10 年の数値目標としては、これまでの 10 年で約 3 万人に BC を発信してきている事から、次の 10 年では 10 万人程度を目標としたい。
- ・関西における 10 周年記念行事については、来年 3 月 16 日にすべく準備中。午前を経営者向けに、午後を実務者向けという構成で検討している。また経営者向けは堀越理事長より BC は経営であるというメッセージを発信するようにする。
午後の実務者シンポジウムでは基調講演、パネルディスカッション、事業継続対応・緊急事態対応演習などを行う方向で検討中である。
- ・何れにしても、この 10 周年記念行事は、今後 10 年にむけて BC が経営に不可欠というメッセージを力強く経営者に発信していく事を主眼にしている。みなさんには多くの経営者が参加したくなるような施策や仕組み作りにご支援願いたい。

●萩原支部長より

- ・関西シンポジウムについてはこれまで 2 回支部運営委員会で議論し、本日の細坪事務局長との議論で骨子については本部とほぼ意見の一致を見た。午前中は、経営者向けシンポジウムとし、内容は本部に準じていく、午後は実務者向けとする、内容的にはこれまでの関西支部企画案をベースに各員の意見も取り入れながら関西テストに合うストーリー作りをしていきたい。例えば、「南海トラフ」をトリガーとしてあるべき BC を発信していくようなストーリー作り。
- ・開催場所については、現在グランフロントを検討中。
- ・会場費の上限は基本的には 30 万円、他によいところがあれば推奨されたい。

②その他 1

- ・徳島の現地視察・研修会について

日程： 11 月 27 日（金）～28 日（土） 支部活動であるが自由参加とする

内容： 27 日（AM） 大塚製薬視察

（PM） 徳島大 BCP 研究部会（地元企業の部会） 関西支部の活動紹介の要望あり
県庁訪問（危機管理部門）

28 日（AM） 徳島大訪問 徳島での取組みの紹介、意見交換

（PM） 視察 県立防災センター等

次回を目途に更なる詳細をつめ参加希望者を募る。（本日出席者内では参加希望者は 3 人）

参加希望者がある程度把握してから、交通手段、宿泊場所等検討する

(意見) 現地で午前から活動するとなると前泊が必要ではないか？ 大阪のみならず他方面からは参加できなくなるのでは

(A) 現地のでスタート時間を少し遅らせるなど検討する

③その他 2

- ・和歌山県商工振興課 山本氏からの報告 (別紙 産経新聞コピー参照、 著作権は確認済み)
和歌山県における BCP 策定状況について報告された
(策定率が低い、これを機に BCP 策定が増える事を期待している)

次回会合の予定：

- ・日時 10月21日(水) 18:00~20:30
- ・場所 大阪市中央公会堂大会議室
- ・勉強会テーマ・講師 田中実様
- ・司会：久保田氏、 支部会書記：徳永氏